

## 長岡市長賞

### 税金つてすごい

長岡市立川口中学校

三年 江畠 美晴

みなさんは税金についてどのくらい知っていますか。私は、つい最近まで「払うことが義務だから。」と税金が「いつ」「どこで」「どのように用途で」など考えたこともないまま、毎日を過ごしていました。日本で暮らしているにもかかわらず、私は税金について知ろうとも考えようともしなかったのです。

ですが先日、税金に関する講習を受けた時、私の意見は変わりました。講師の方から、私たちが普段払っている税金の使い道などについて詳しく教えていただきました。税金は私たちの生活が豊かになるために使われていることを聞き、「良い行いをするとめぐりめぐつていつか自分のところへ返つてくる」という言葉を思いました。私が講習の中で最も印象に残ったことが三つあります。一つ目は、学校の設備や教材などの教育費に税金の約三割が使われているということです。私たちが毎日通っている校舎、教科書や机、理科室の実験器具にまで税金が使われており、私たちは税金に支えられて楽しい学校生活を送っているということを知ることができました。改めて、税金の大切さを再認識するとともに、学校のものを大切に扱おうと思える良い機会になりました。二つ目は、「税金は公平である」ということです。講習の中

で税金は、「みんなのためにみんなで負担してみんなで幸せに。」という考え方の基、成り立っているということを学ぶことができました。「ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン」という言葉があるように「誰かが損をするような集め方をするのではなく、へ公平に」ということを大切にし、みんなで協力してより良い未来へ」という考えに強く心を打たれました。三つ目は、話し合いが大切だということです。講師の方から、「答えは一つじゃない。よく話し合うことが大切である。」と教えていただきました。話し合うことは税金に限った話ではなく、他者と分かり合うために必要なことであると感じました。

そして、講師の方から税金がなくなってしまうなどのような世の中になってしまふのかということについても教えていただきました。税金がなくなってしまうと、学校のほぼ全てが税金でできているので、私たちは学校に行けなくなるという事態が発してしまいます。そこから負の連鎖が始まつて行き、事故などはそのまま放置されている、飲み水も次第になくなつていくなどと世の中が荒れていつてしまふと教えていただきました。そのようなことになつてしまえば、誰も幸せになんてなれないと思います。だからこそ、少しでも多くの幸せを手にするために税金はなくてはならぬものだと感じます。

これから私は、健康に暮らすため、安心して暮らすため、税金がこの先上がり続けても私たちのためと割り切つて暮らしていくことを思っています。